

：芽室町老人クラブ連合会様との意見交換会 総務経済常任委員会

■開催年月日：令和4年11月22日（火） ■開催場所：役場庁舎3階委員会室

■出席議員：鈴木委員長・中田智恵子・中村和宏・立川美穂・梶沢幸治・早苗議長

■参加者：矢野会長・河瀬様・岡谷内様・小川様・林様・橋本様・松岡様・大丘様  
木村事務局長・中川事務局 （合計：16人）

■記録者名：中田智恵子

テーマ「子どもからお年寄りまですべての世代に愛される新嵐山スカイパーク」

カテゴリ	テーマ	意見交換内容
現状について	新嵐山荘について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レストランの高齢者向けのメニューが少なくなっている。</li> <li>・新嵐山の利用促進に送迎バスは大事である。</li> <li>・宿泊の料理が良かった。</li> <li>・洋室ベットが足りない。</li> <li>・コロナ禍以前のような宴会ができなくなった。</li> <li>・二次会のできる場所がない。</li> <li>・宿泊者への接客サービスに問題がある。</li> <li>・温泉がないのは、宿泊施設としての経営は難しい。</li> </ul>
	野外施設について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パークゴルフ場の縮小により、町唯一の公認コースが無くなった。</li> <li>・コース整備が悪くなり、大会開催の時は利用者がコース整備を行った。</li> <li>・キャンプ場の整備は、孫や子供から家族連れ、若い世代に好評と聞いている</li> <li>・4輪バギーなど全体的に若者向けの施設になってきた。</li> <li>・ドックランなどアウトドアな施設は充実している。</li> <li>・宿泊施設の周りや道路からの入口などの環境整備が、悪くなっている。</li> <li>・展望台からの景観は、素晴らしい。</li> </ul>
	総合的な現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パークゴルフ場の利用後に、レストランで食べれるメニューがないので帰ってしまう。</li> <li>・展望台からの景観を見た後は、近くの飲食店を利用している。</li> <li>・産業観光まつりのような大きなイベントがなくなり、パークゴルフ場も小さくなって、年配者が食べるものもなくなり、環境整備も良くない。寄ってみようと思えない。</li> </ul>
課題	解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用については、送迎が必須条件になる。帰りについては柔軟な対応が必要となる。</li> <li>・各種団体（特に老人クラブ・町内会など）での新嵐山の利用条件は、送迎がなければいけない。宿泊のみならず、宴会やパークゴルフ場（日帰り）においても送迎と施設の整備が重要である。</li> <li>・レストランメニューは、各世代が食べれるようにする。</li> <li>・温泉を掘るのが無理なら運んでではどうか？浴場にサウナがあるといいと思う。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全体的に高齢者向けの利用する物が無くなったと感じる。改善しないと高齢者は利用できない。</li> <li>• 展望台への案内や、遊歩道の環境整備を進める。</li> <li>• 新嵐山改革が進むに連れて町民の利用が減っているように見える。営業努力と経営改善が必要である。</li> </ul>
	各委員との懇談	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現在の経営状況から考えると、3セクによる運営自体を検証する事も必要である。</li> <li>• 指定管理料以外の税金の持ち出しにならないような、経営改善の努力が必要である。しかしながら、コロナ禍の運営を考えるとまだまだ厳しい状況化にある。</li> <li>• 町民や利用者目線に立ったサービスの向上が必要。</li> <li>• 夏のリフトの運行は、牛の放牧場としての役割や、運行の目的など検証が必要である。</li> <li>• 改革することは理解できるが、町民の目線からどう見えているのか検証をさらに進める。</li> </ul>
あるべき姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新嵐山スカイパークは、いつまでも芽室町のシンボルとして、あり続けてほしい。</li> <li>• 町民が、自慢できる場所であって欲しい。</li> <li>• すべての世代が利用できる所にして欲しい。</li> <li>• 快適な利用者目線のサービスを目指して欲しい。</li> <li>• 新嵐山は、豊かな自然の場所なので、四季を感じられるようなきれいな環境整備を先ずはじめて、訪れる人に満足してもらえるような経営を目指してもらいたい。</li> </ul>
議員間討議	総合的な視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 食事のメニューや宴会・送迎など高齢者が利用しやすいサービスの提供が、不足している。</li> <li>• 従来から愛用していた町民のニーズと「乖離」した現状が、見受けられる。</li> <li>• パークゴルフ場の縮小とコース整備の問題、スキー場の管理運営、歩くスキーコースなどにおいて、社会体育施設としての視点が欠如している部分が見受けられる。</li> </ul> <p>今回の意見交換会で出された意見から見えてくる新嵐山の現状での問題点は、芽室町新嵐山スカイパーク設置条例との整合性にある。</p> <p>第1条 町民の健全なレクリエーションと健康の増進をはかるとともに観光の振興に寄与するため、芽室町スカイパークを設置する。</p> <p>第3条 スカイパークの利用の便をはかるため、宿泊施設、休憩施設、スキー場、その他の施設を設置する。</p> <p>年齢を問わず、すべての町民のための新嵐山スカイパークとして、現状の在り方は、設置条例に適合しているのかという疑問を参加者の皆さんが、感じていることが伺える。</p>